

北九州地区に 先進バイオテクノロジー の産業の芽を

人工知能技術の進展や新しい分子生物学の進歩により、世界の産業構造は予想以上の速さで変わりつつあります。北九州地区が“モノづくり”の拠点として今後もアジアや世界の中で存在感をもった都市として、人々を惹きつけて情報を発信していくには何が求められるのでしょうか？常に次の時代の風を感じ、自らパラダイムシフトを起こして、変わっていく勇気が必要かもしれません。北九州市立大学・国際環境工学部のバイオメディカル材料開発センターでは、ナノテクノロジーやソフトマテリアルを基軸にした先進バイオテクノロジーが次世代の産業の中核となると考えています。この度、材料の合成から物性評価、さらには動物試験を一貫して行える施設が完成するにあたり、記念講演会を開催します。



北九州市立大学 バイオメディカル材料開発センター シンポジウム

2017

4.21(金)

講演会 13:00 ~ 15:40

交流会 15:50 ~ 16:50

北九州学術研究都市
会議場

主催者挨拶 北九州市立大学 環境技術研究所 所長 梶原 昭博 氏

講演 1 13:05 ~ 13:35

「ナノサイエンスの目で観た糖質化学
～分野横断的な視点の重要性について～」

九州大学 名誉教授

九州先端科学技術研究所 所長 新海 征治 氏

講演 2 13:50 ~ 14:35

「細胞認識性バイオマテリアル設計による医療革新」

東京工業大学 名誉教授

国際科学振興財団 再生医工学バイオマテリアル研究所
所長 赤池 敏宏 氏

講演 3 14:40 ~ 15:40

「治療から予防へのパラダイムシフトによって
新しい産業を～バイオマテリアルとワクチン～」

北九州市立大学 国際環境工学部 教授

バイオメディカル材料開発センター センター長 櫻井 和朗 氏

【お問い合わせ】

公立大学法人北九州市立大学 事務局 企画管理課

担当：中村・本山

TEL：093-695-3311 FAX：093-695-3368

<http://www.kitakyu-u.ac.jp/env/index.html>

【お申し込み】

(公財)北九州産業学術推進機構 産学連携統括センター

TEL：093-695-3006 FAX：093-695-3439

<http://www.ksrp.or.jp/fais/iac/>

北九州市立大学
バイオメディカル材料開発センター シンポジウム
「北九州地区に先進バイオテクノロジーの産業の芽を」

2017年4月21日(金)
講演会 13:00 ~ 15:40
交流会 15:50 ~ 16:50

講演概要

ナノサイエンスの目で観た糖質化学
～分野横断的な視点の重要性について～

九州大学 名誉教授/
九州先端科学技術研究所 所長

新海 征治 氏

糖は天然由来のキラル物質であり、「多様性」が広く、かつ「bio-compatibility」が高いのがその最大の特徴である。したがって、糖質を出発原料として用いれば、多彩なナノ・バイオ機能材料を設計することが可能となるはずである。しかし、その特徴を生かし切るには、「分野横断的」な研究体制で挑戦することが不可避である。本講演では、ナノサイエンスの立場から糖質がもつ機能を引き出したいくつかの研究例を紹介する。

ひびきのへのアクセス

【公共交通機関の場合】

鹿児島本線『折尾駅』下車

北九州市営バス
折尾駅西口
→学研都市ひびきの
※所要時間約 15 分

【車の場合】

北九州市高速道路
黒崎出入口(黒崎・折尾出口下車折尾方面へ)

学術研究都市
※北九州市高速道路
黒崎出入口から
所要時間 20 分

細胞認識性バイオマテリアル設計
による医療革新

東京工業大学 名誉教授/国際科学振興財団
再生医工学バイオマテリアル研究所 所長

赤池 敏宏 氏

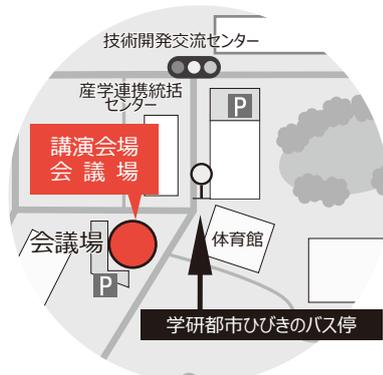
ガンや肝硬変、腎臓・肺等の臓器線維症および感染症等々、人類が現在の科学技術をもってしても克服しきれず膨大な数の患者を死に至らしめている。演者らは、40 年余におよぶ細胞認識性バイオマテリアル研究(糖質マトリックス工学、カドヘリンマトリックス工学等)の結果ようやく組織工学・再生医療・ドラッグデリバリーシステム(DDS)への応用と治療への展望を見出しつつある。本シンポジウムでは、医学・薬学・生物学と材料工学との融合の重要性について若人に語りかけたいと思う。

治療から予防へのパラダイムシフト
によって新しい産業を
～バイオマテリアルとワクチン～

北九州市立大学 国際環境工学部 教授/
バイオメディカル材料開発センター センター長

櫻井 和朗 氏

我が国は急速に高齢化社会を迎えつつある中、健康寿命を引き上げることが重要であり、そのような新しい医療技術が必要とされている。その中に、新しいワクチンがある。ワクチンとはヒトが持っている自己防御機構である免疫系を制御する技術である。ワクチンを有効に働かすためには、アジュバントと呼ばれる成分の開発と、それを運ぶ薬分送達システム:DDS が必要であり、我々の最新の研究成果を紹介しながら解説する。



交流会

15:50 ~ 16:50 会議場 イベントホール 参加費：一般 1,000 円 (※ひびきのの会員は無料)



FAX でのお申し込みはこちらから

※のある箇所は必ずご記入下さい。

(093)695-3439

第157回ひびきののサロンの参加申し込み

ふりがな 参加者氏名 ※	
貴社名 ※	
所属・役職	
住所	〒
電話番号	FAX 番号
E-mail ※	
交流会 ※	<input type="checkbox"/> 参加希望 <input type="checkbox"/> 参加しない
メールマガジンによるサロン等の案内を <input type="checkbox"/> 希望する <input type="checkbox"/> 希望しない <input type="checkbox"/> 登録済	

ご記入いただいた個人情報は、(公財)北九州産業学術推進機構が別途定めております個人情報保護方針に基づき細心の注意を払い取り扱います。無断で第三者に提供することはありません。当財団が関与する産学連携に関するイベント等について DM や E-mail 等にてご案内する場合があります。